

# 行財政改革プランの取組状況について

## 1 岡谷市行財政改革プランの概要

岡谷市行財政改革プランは、市民総参加のもとで、これまで以上に行財政改革に取り組み、財政規模に見合った、岡谷市ならではの特色あるまちづくりを推進できる行財政基盤の確立をめざして、行財政改革プラン策定市民会議と市との協働によって策定しました。

- 計画期間 平成18～27年度までの10年間
- 基本方針 市民と市の役割分担と協働の推進  
簡素で効率的な行財政運営  
集中と縮小・廃止を基本とした事務事業の見直し  
公平性の視点に立った適正な受益と負担の確保

しんちよく

## 2 平成18年度の進捗状況

実施計画（計画期間：平成18～20年度）に掲載した59項目のうち、24項目を実施しました。主な内容は次のとおりです。

項目	主な取り組み	効果
歳入の確保	施設等の使用料や一部負担金を見直し (おかや総合福祉センター、学童クラブ、勤青ホーム・勤労会館、公民館、生涯学習活動センター、健康診査徴収金、減免規定の見直しなど)	使用料収入が1,900万円増加 (17-18決算比較)
	保育園第3子以降無料化を見直し (保育料全体の見直しの中で実施)	保育料の軽減額を300万円削減 (17-18決算比較)
	有料広告を掲載 (市ホームページ、テクノプラザおかやホームページ、広報おかや、公用車、テクノプラザおかやネットフェンス)	広告料収入が40万円増加 (17-18決算比較)
歳出の削減	補助金・負担金を一律に減額	補助金・負担金の支払額を7,200万円削減(17-18予算比較)
	市の施設に指定管理者制度を導入	施設の維持管理経費を1,600万円削減(17-18決算比較)
簡素で効率的な行政運営	組織改正により部・課を見直し、組織をスリム化	正規職員を21人削減(17-18比較)
	定員適正化計画の推進により正規職員を削減	
公営企業の経営健全化	上下水道料金のコンビニエンスストアでの収納を実施	上下水道料の期限内収納率が1.5%上昇(17-18比較)
	岡谷病院と塩嶺病院の経営を統合	薬剤・診療材料等の共同購入等により2,600万円削減 (17-18決算比較)

詳しい内容は、市のホームページでご覧いただくことができます。  
～ 内容に関するお問い合わせ ～ 企画課(内線1527)

## らせします

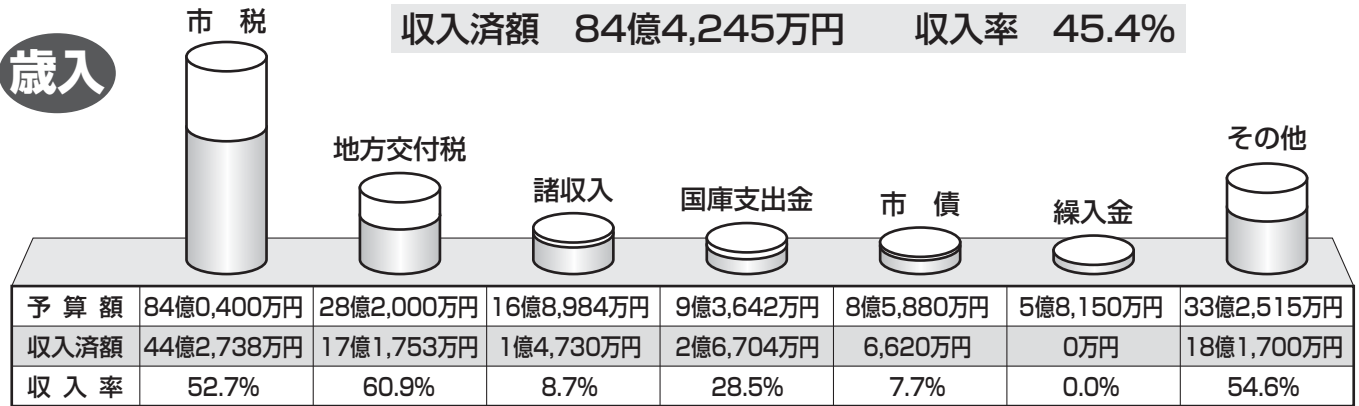
市では、年2回財政状況を公表しています。  
市民税などの市税、国から交付される地方交付税などをもとに予算をたて、よりよい市民生活を目指してさまざまな事業を行っています。みなさんの税金がどのように使われているかご覧ください。

◆ご不明な点は…  
財政課（内線1531）

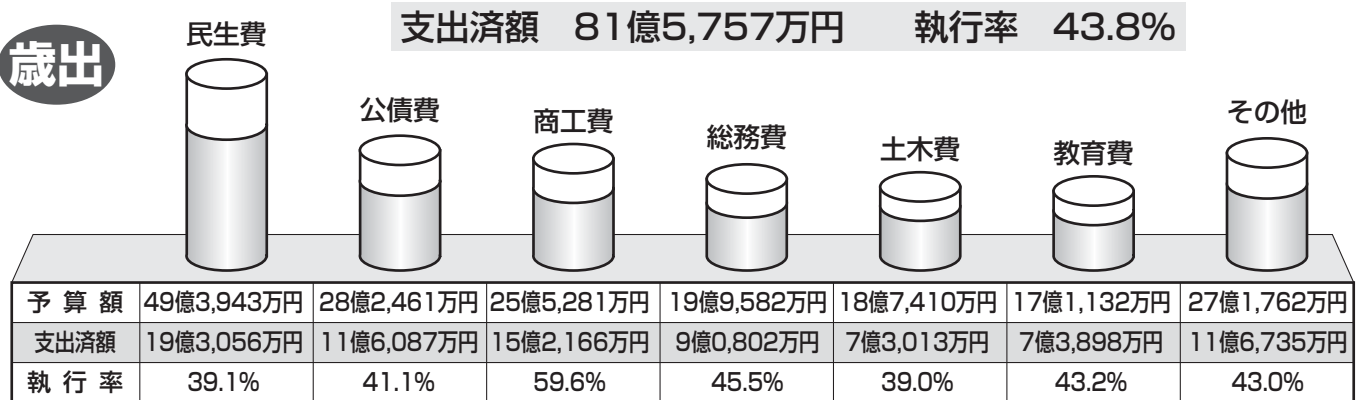
### 一般会計

予算額 186億1,571万円

収入済額 84億4,245万円 収入率 45.4%



支出済額 81億5,757万円 執行率 43.8%



### 一般会計

平成19年度上半期の一般会計は、4月の第1号から9月の第5号まで5回の補正が行われ、補正額は9771万円となりました。

その主な内容は、新病院建設地選定のための活断層調査に係る経費957万円、商工業振興補助金の追加3900万円、岡谷駅前用地購入に係る経費3318万円などとなっております。

この結果、今期末予算額は186億1571万円となり、前年同期の204億1405万円と比較して1億9834万円の減となっております。また5年前の平成14年度と比較すると22.1%の減になります。

#### ◆歳入

予算額に対する収入割合は45.4%で、前年度同期の42.0%と比較して3.4ポイントの増、収入済額は1億3732万円の減となっております。

予算額の款別構成比率は、市税が最も大きく45.1%を占め、地方交付税15.1%、諸収入9.1%がこれに続いて大きな割合を占めています。

#### ◆歳出

予算額に対する支出割合は43.8%で、前年度同期と同値、支出済額は7億8797万円の減とな

# 平成19年度 上半期

(平成19年9月30日現在)

# 市の財政状況をお知

## 特別会計

会計名	予算額	収入額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	52億8,127万円	20億0,281万円	37.9%	21億0,640万円	39.9%
地域開発事業	5億7,500万円	1,472万円	2.6%	4億1,271万円	71.8%
分収造林事業	3,498万円	360万円	10.3%	294万円	8.4%
霊園事業	1,400万円	2,489万円	177.8%	436万円	31.1%
老人保健事業	56億7,193万円	23億5,170万円	41.5%	22億8,179万円	40.2%
温泉事業	2,100万円	1,534万円	73.1%	788万円	37.5%
訪問看護事業	4,049万円	4,152万円	102.5%	1,458万円	36.0%
合計	116億3,867万円	44億5,458万円	38.3%	48億3,066万円	41.5%

## 財産と借入れ

市の財産	土地	87万9,617㎡
	建物	26万7,701㎡
	基金等 有価証券	56億0,371万円 3,060万円
市の借金	市債(累計)	249億2,455万円
	一時借入等	1億0,600万円

(企業会計・特別会計を除く)

## 企業会計

会計名	収入		支出		
	予算額	収入調定額	予算額	支出済額	
病院事業	収益的収支	88億3,900万円	37億2,588万円	88億3,900万円	38億1,438万円
	資本的収支	7億5,372万円	5,218万円	11億0,678万円	2億7,330万円
水道事業	収益的収支	9億6,494万円	4億7,838万円	9億4,223万円	3億9,872万円
	資本的収支	751万円	29万円	3億7,502万円	8,257万円
下水道事業	収益的収支	16億7,980万円	8億9,486万円	16億7,921万円	7億7,850万円
	資本的収支	6億6,116万円	2,631万円	11億3,680万円	5億2,024万円

### 特別会計

上半期は、国民健康保険事業で、医療制度改革に係るシステムの改修費1127万円、老人保健事業で医療費支払基金等の返還に要する経費993万円など、合計して3707万円の補正が行われました。

特別会計  
上半期は、国民健康保険事業で、医療制度改革に係るシステムの改修費1127万円、老人保健事業で医療費支払基金等の返還に要する経費993万円など、合計して3707万円の補正が行われました。

ついでに、  
予算額の款別構成比率は、民生費が26・4%を占め、以下公債費15・2%、商工費13・7%、総務10・7%と続いています。

### 計画行政で健全な 財政運営を

平成19年度の上半期の財政事情については、税源移譲により税収は増額となったものの、地方交付税の縮減の影響などから一層厳しさを増し、今後の見通しは予断を許さない状況にあります。今後とも徹底した行政改革を推進し、より効率的な行政運営のもとに健全財政の堅持を念頭に、市民要望の実現と福祉の向上に努めてまいります。